

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 5年 3月 24日

事業所名 P.P.P.ヒマワリ！玉島

保護者等数 25 (児童数) 25 回収数 19 割合 76 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19				実際に子供が活動している所は見ただけでは見えないが、見学の際に見せてもらい十分だと思った。	活動しているところも見えるよう参観できる日を検討します
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17			2	送迎はとても助かっている。悩みを相談した時には適切に返事をもらっているため配置数・専門性ともに適切ではないかと思う。	県で定める指定の基準配置より多くの人員を配置しています
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17				2 連絡ノートの情報では、本人が活動を拒否したり混乱したりすることも多いようなので、適切であると思う。	利用児に分かりやすく環境を設定しています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	1		1	1 拒否なく通うことができおり、本人も納得して活動できているようです。	これから心地よい環境の中で過ごしていけるよう努めます
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	18				1 連絡ノートを活用し情報を共有してもらい個別的に配慮してくれていると思う。	相談支援の計画書も参考にし、職員で会議を行い作成しています
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17	1		1	1 ガイドラインの内容については把握できていないが、家族・地域をふくめて本人に合った支援計画を立案してくれ、分かりやすく書いてくれている。	家庭連携や地域連携を入れた個別支援計画書を作成しています
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	1		1		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	18				1 好きなことを取り組んであげないよう嫌にならないよう考えてくれている。	色々な課題を考え提供しています
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	2	1	5	5 午後利用になって連絡帳をかいしての交流はなくなったと思う園をベースに支援してもらっているため問題ないと思う。	保育園や幼稚園との併用の方が多いです
保護者への説明	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19				最初の見学と契約の際に丁寧に説明してもらった。	最初の契約時に説明しています
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	19					懇談等を通して支援計画の説明をしています
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	12	2	1	4	4 連絡ノートを通じ対応方法を相談したりアドバイスを実行し、どうだったか報告させてもらっている。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	19				連絡ノートを活用できている。また送迎時に情報共有できている。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18				1 面談は3月の予定です。助言は連絡ノートを通じ相談している。	年に2回（夏と春）懇談を行っています
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	3	5	4	4 コロナにより交流の機会は減っていると思う コロナの状況次第だと思う	保護者の集まりを実施していきます

等	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18			1	連絡ノートを活用しています	契約時に説明していますが、なんでも相談という体制があり、相談等あった場合は迅速かつ適切に対応さもらっています	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19				連絡ノートを活用しています	必要に応じて電話やメールでも対応しています	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14			1	4	ホームページを確認していないので、今後確認していこうと思います。 プリント等で発信している。	お知らせやお便りを配布しており、自己評価の結果はホームページに掲載しています
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	17	2				注意してくれている	入職時に守秘義務の誓約書を交わしています
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	13	2			4	早め早めに連絡されている	マニュアルは作成してあるが、周知までできていない
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1			5	訓練したと教えてくれた	避難訓練は年に2回以上実施しています
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	18				1	最近では療育にも慣れ行ったことなど教えてくれます。 嫌がることなく通っている。家では「先生とブラレールした！」など嬉しそうに教えてくれる。	
	23	事業所の支援に満足しているか	17	2				事業所に行く度に子どもが成長している事がわかる 子ども本人が楽しく通っており、少しずつ成長していることを実感できている。とても助かっており、父母ともに勉強になる。 1年経つがまだほほ変化が見られないので、わからない。	

*1 この部屋で何をするかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3 月 24 日

事業所名 P.P.P. ヒマワリ！玉島

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		個別療育スペースは各部屋を活用しながら1度に5人入るよう工夫した	
	2 職員の配置数は適切である	7		国の基準より多く配置している	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		パーテーションで仕切るなど分かりやすい環境になっている	建物が2階建てで事業所が2階にあるため、階段を必ず使用してもらおう。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		近くの公園などを活用している	外で遊べるスペースがないが、近くの公園などを活用している
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		職員会議をこまめに行っている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		年度末に実施しており、改善が必要な場合は取り組んでいる	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページにて公開している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		定期的に研修を行っている	
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		予め保護者にもニーズ聞き計画書を作成している	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		太田ステージや一般発達検査など活用している	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		個別支援計画書には「家庭連携」「地域連携」の項目があり、支援内容も設定している	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		職員会議を行いみんなで話し合っている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		職員会議を行いみんなで話し合っている	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		毎日夕方に終礼を行っている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		連絡帳は毎回記入しPCへ入力している	連絡帳のコピーも保存し、どんな支援でどうだったかなど検証できるようにしている
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		年に2回実施している		
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		児発管と担当職員が参加している		

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	保健師と連携を行っている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	状況票を進学先の小学校へ提出したり、場合によっては担当者会議も行っている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	研修に参加している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7		ほとんどの児が幼稚園や保育園との併用なため
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		積極的に参加できていないので、今後は参加するよう検討していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	連絡帳や送迎時に共有している	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	相談や悩みがあれば助言などさせてもらっている	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	契約時に説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	懇談時に説明し同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	年に2回懇談でも聞いているが、その他でも日々の連絡帳や送迎時、電話などでも行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		次年度からは開催していきます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	なんでも相談という体制があり、窓口担当者や解決責任者が話を聞いている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	年に2回活動の報告のお便りを配布している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	入職時に誓約書を交わしている	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		
非常	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		職員間では共有しているが、保護者には周知できていなかったため、お便りでも配布していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	年に2回以上避難訓練を行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	契約時に確認している	

時 等 の 対 応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	アレルギーがある場合には医師の指示書を提出してもらっている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	毎月1回研修を行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	重要事項説明書には記載している	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 24 日

事業所名 P.P.Pヒマワリ! 玉島 保護者等数(児童数) 17 回収数 10 割合 58.8 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9			1	参観日がないのでわからない →今後は活動の様子を参観できる日を作っていくと思います
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1			県で定める指定の基準配置より多くの人員を配置しています
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		2	あまり中まで入らないので把握できていない →今後は活動の様子を参観できる日を作っていくと思います 場所が2階なので階段はまぬがれないところはある
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9			1	相談支援の計画書も参考にし、職員会議を行い作成しています
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	1			固定化しないよう職員間で会議を行い、利用児の意見も取り入れながら活動を決めています
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	2	1	2	児童館に連れて行ってもらったことはあるが、健常児との交流は記憶にない →みんな地域の小学校へ通っているため機会は設けていません
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	1			いつも親身に一緒に考えてくれ助かっている
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1			学校の連携の話を保護者にフィードバックがない いつも親身に一緒に考えてくれ助かっている 一年に2回懇談を実施しています
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	4		3	コロナ禍なので難しいと思う →来年度からは保護者の集まりも実施します
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		1	契約時に説明していますが、なんでも相談という体制があり、相談等あった場合には迅速かつ適切に対応させてもらっています
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	3			その都度対面やTEL、連絡帳で行っている
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	2		1	何かあれば文書を配布し知らせてくれている
14 個人情報に十分注意しているか	8	1		1	入職時に誓約書を交わしています	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	2		2	毎年説明まではされていないかも? →最初の契約時に説明しています
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	1		1	避難訓練は年に2回以上実施しています
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	10				
	18 事業所の支援に満足しているか	9	1			先生方の思いやりに日々感謝しています 子どもたちも先生方が大好きなので安心してお願いでき感謝している

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月24 日

事業所名 P.P.P. ヒマワリ! 玉島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			
	2	職員の配置数は適切である	9		県の指定基準より多く配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1		建物が2階建てで事業所が2階にあるため階段を必ず使用してもらう
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		職員会議をこまめに行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		年度末には実施しており改善が必要な場合は取り組んでいる	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		ホームページにて公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	7		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		定期的に研修を行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		予め保護者にもニーズを聞き計画書を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		職員会議を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		職員会議を行っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		9		休日のみの営業のため
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		夕方に終礼を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		連絡帳は毎回記入しPCへ入力している	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		年に2回行っている		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		児発管と担当職員で参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		学年日よりなどもらっている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	8	他事業所へ行く場合は状況票を提出している	小3までの利用のため
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		研修に参加している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	6		地域の小学校へ通っているため
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		9		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		連絡帳や送迎時などに共有している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		9	相談や悩みなどあれば助言などをさせてもらっている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時に説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		9		来年度は開催予定
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		なんでも相談の体制がある	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		年に2回配布している	
	35	個人情報に十分注意している	9		入職時に誓約書を交わしている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		9		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	8		保護者には周知できていないので、お便りなどでお知らせする
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		年に2回以上避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		9		重要事項説明書に記載している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			